

トリプルソフトバレー

3チームが同時に行えるソフトバレーボールで、ボールを返す角度が広いためラリーが続きやすいという特性があります。他のチームの点数を見て作戦を考えながらプレーするという楽しみ方もあり、見ている人も含めて普通のソフトバレーボールとは違った楽しみ方のできるソフトバレーです。

用具

- ☆バドミントンネット 3帳
- ☆バドミントン支柱4本
(うち可動式2本、または2m程度の竿棒)
- ☆ソフトバレーボール
- ☆コートテープ
- ☆得点板

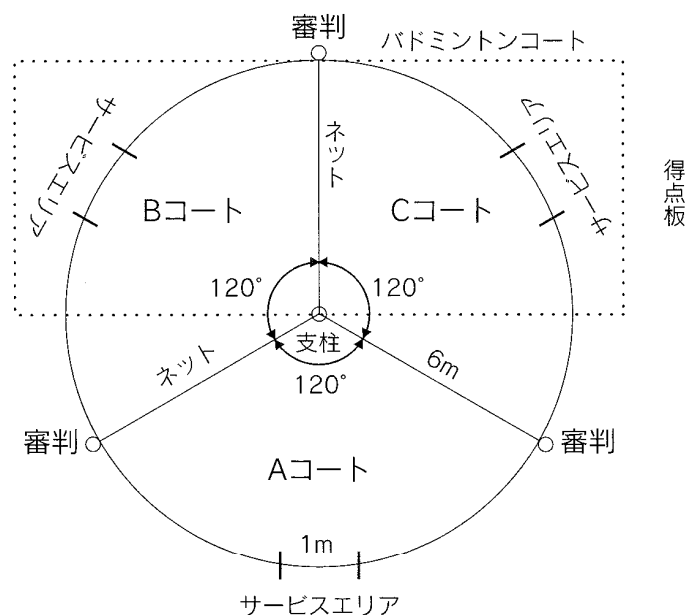
人数

- ☆1チーム4名
- 3チームでプレーする。

場所(コート)

- ☆バドミントンコート1面にネットを張り、片方の支柱を中心に半径6mの円(コート)を作る。その円(コート)を3等分し120度の扇形のコートを3つ作る。
(残りのネット2帳は、可動式支柱を使うか、審判員が竿棒にネットをくくったものを張って持つ。)

- ☆各コートの中央1m(相手チームのネット延長線上)にサービスエリアを作る。
- ☆ネットの高さはその都度自由。
標準2m



	
運 動 量	★★★★
技 能	★★★
準 備	★★★★

ルール（進め方）

【ゲームの進め方】

- ① 抽選によりコートとサービス開始チームを決める。
- ② サービスはサービスエリアより、サービス順に従い、相手2チームの内いずれかのコートに打つ。
- ③ サービスは1本とし、順次右回りに次のチームに移動する。
- ④ チーム内もローテーションはなく右回りでサービスを行う。
- ⑤ サービスを対面ネット上に上げた場合、相手2チームがサービスアタックした時はインプレーとし（審判はオーバーネット、タッチネットをよく見ること）ボールタッチがなく、ネット天場にボールが触れた場合は、サービスはアウトとして、サービスチームの減点とする。
- ⑥ 各チームの持ち点は21点（または15点）とする。
- ⑦ ミスパイントで持ち点より減点して、3チームのうちいずれかのチームの持ち点が0点になった時点で試合終了。残持ち点がそのチームの得点となり、順位を決定する。
- ⑧ その他のルールはソフトバレーボールルールに準ずる。

【リーグ対戦表】

☆4チーム（4人1チーム）の場合

試合順	A	B	C	D
1				★
2			★	
3		★		
4	★			
合 計				

☆5チーム（4人1チーム）の場合

試合順	A	B	C	D	E
1				★	★
2		★	★		
3	★				★
4			★	★	
5	★	★			
合 計					

☆6チーム（4人1チーム）の場合

試合順	A	B	C	D	E	F
1				★	★	★
2	★	★	★			
3		★	★		★	
4	★			★		★
5		★		★		★
6	★		★		★	
合 計						

☆7チーム（4人1チーム）の場合

試合順	A	B	C	D	E	F	G
1				★	★	★	★
2	★	★	★				★
3		★	★		★	★	
4	★		★	★	★		
5		★		★		★	★
6	★		★	★		★	
7	★	★			★		★
合 計							

☆8チーム（4人1チーム）の場合

試合順	A	B	C	D	E	F	G	H
1				★	★	★	★	★
2	★	★	★				★	★
3		★	★	★	★	★		
4	★	★		★	★		★	★
5		★	★			★		★
6	★		★	★		★	★	
7	★	★		★	★			★
8	★		★		★	★	★	
合計								

一位5点、二位3点、三位1点で得点換算